

演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302
必修 2単位

江本 伸哉

1. 授業の概要(ねらい)

春期の「演習Ⅰ」の続きです。秋期は『池上彰のやさしい経済学2 ニュースがわかる』(日本経済新聞出版社)について、各章を2つに分けて、ゼミ生がグループワークによって分担して要点と疑問点を報告してもらった後、私が解説していきます。池上さんは難しい経済・政治・国際・社会問題を分かりやすく解説する第一人者で、日本経済についても、よくご存知です。この本をしっかりと読みこなし、ゼミで発表することによって、日本経済の基礎をひとつと理解します。同時に、社会に出てから必ず必要になる読解力、調査能力、プレゼンテーション能力を高めます。今後の各自の研究テーマを探すヒントも提供します。ゼミで感じた疑問、意見、感想、要望などは毎回ミニッツペーパー(MP)に書いて提出してください。次回のゼミで「MP通信」にまとめてお答えします。

2. 授業の到達目標

- ①教科書2冊を1年かけてじっくり深く読み通す根気を身につける。
- ②日本経済についての基礎的な知識を理解し、他の人に説明できるようになる。
- ③教科書の要約(レジュメ)を作成し、疑問点を調べて分かったことをパワーポイントで発表できるようになる。
- ④自分なりの問題意識をもち、調べたこと、分かったことをレポートの形で論理的にまとめるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

- ①教科書2冊を1年かけてじっくり、深く読み通す根気を身につける。
- ②日本経済についての基礎的な知識を理解し、他の人に説明できるようになる。
- ③教科書の要約(レジュメ)を作成し、疑問点を調べて分かったことをパワーポイントで発表できるようになる。
- ④自分なりの問題意識をもち、調べたこと、分かったことをレポートの形で論理的にまとめるようになる。

4. 教科書・参考文献

教科書

池上彰 池上彰のやさしい経済学2 ニュースがわかる 日本経済新聞出版社

参考文献

藤井彰夫 日本経済入門 日本経済新聞出版社

塚崎公義 一番わかりやすい日本経済入門 河出書房新社

日経ビジネス 日本経済入門 日経BP社

5. 準備学修の内容

- ①ゼミが始まる前に教科書をいちど読み通してください。分からないことがあっても構いません。ゼミで質問して下さい。ゼミで毎回提出してもらうミニッツペーパー(MP)に書いてもらっても構いません。
- ②日本経済は生き物です。そのリアルな動きをつかむために、『日本経済新聞』(紙の新聞でも電子版でも構いません)を毎日読む習慣をつけることを強くお勧めします。スマホでも図書館でも読めます。

6. その他履修上の注意事項

- ①ゼミは毎回出席が原則です。出席が3分の2(10回)未満の場合は単位を与えられません。
- ②欠欠の場合は1か月以内に届けを出しましょう。
- ③私語、授業に無関係なスマホ操作は禁止です。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | 夏休みの宿題(教科書1の第7章後半の「感想文」)の発表 |
| 【第2回】 | 教科書第1章「インフレとデフレーション合成の誤謬」前半(P7~33) |
| 【第3回】 | 教科書第1章「インフレとデフレーション合成の誤謬」後半(P34~56) |
| 【第4回】 | 教科書第2章「政府か日銀か——財政政策と金融政策」前半(P57~77) |
| 【第5回】 | 教科書第2章「政府か日銀か——財政政策と金融政策」後半(P78~92) |
| 【第6回】 | 教科書第3章「バブルへGO! ——なぜバブルが生まれ、はじけたか?」前半(P93~119) |
| 【第7回】 | 教科書第3章「バブルへGO! ——なぜバブルが生まれ、はじけたか?」後半(P119~136) |
| 【第8回】 | 教科書第4章「円高と産業空洞化——日本に残るか海外に出るか」前半(P137~161) |
| 【第9回】 | 教科書第4章「円高と産業空洞化——日本に残るか海外に出るか」後半(P162~186) |
| 【第10回】 | 教科書第5章「円高と産業空洞化——日本に残るか海外に出るか」前半(P187~210) |
| 【第11回】 | 教科書第5章「円高と産業空洞化——日本に残るか海外に出るか」後半(P210~232)
＝期末レポート出題 |
| 【第12回】 | 教科書第6章「リーマン・ショックとは何だったのか?」前半(P233~257) |
| 【第13回】 | 教科書第6章「リーマン・ショックとは何だったのか?」後半(P257~280) |
| 【第14回】 | 教科書第7章「日本はどうして豊かになれたのか?——戦後日本経済史」前半(P281~302) |
| 【第15回】 | 教科書第7章「日本はどうして豊かになれたのか?——戦後日本経済史」後半(P302~322)
＝期末レポート提出締切 |